

株式会社ユニリタ
証券コード：3800



UNIRITA

2019年3月期 第1四半期

決算レポート

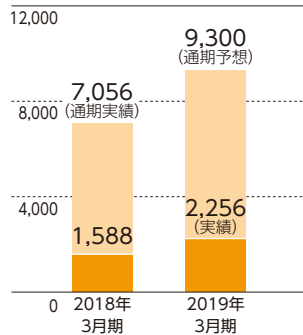
2018年4月1日～2018年6月30日

- 株主の皆さまへ
- 事業トピックス

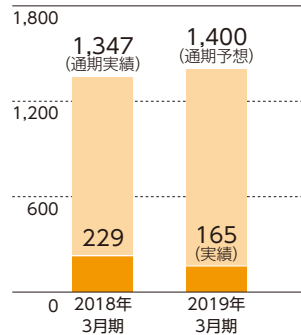
Quarter

第1四半期業績ハイライト (単位:百万円)

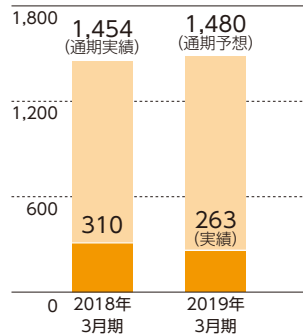
売上高



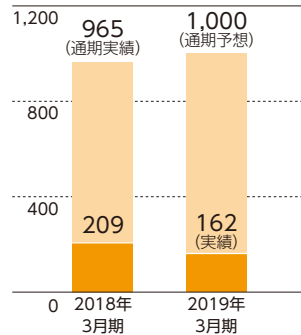
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期純利益



第1四半期 業績のポイント

- 各セグメントが好調、売上高は前年同四半期比42.1%増加
- ソリューション提案による自社製品の大型案件受注
- 新たに子会社化した(株)無限による業績貢献
- 損益面では、成長領域への研究開発投資、開発体制の強化、マーケティング活動費の増加等が影響

株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素よりご支援賜り誠にありがとうございます。
ここに、2019年3月期第1四半期決算レポートをお届けいたします。

中計初年度、事業構造変革に向けて

ITサービス業界では、「攻めのIT」と「事業部門でのIT活用」への変化に対応するため、お客様の業務や事業の専門性に対する知見強化と製品やサービス提供にあたってのクラウド化、ソリューション化が重要テーマとなっています。

このような環境の中、当社グループでは、「独立系の自社開発パッケージソフトウェアメーカー」としての事業基盤のもと、3か年中期経営計画(2018年度~2020年度)を策定しました。そして、今期はその初年度として、「業務専門性」の研磨と「事業専門性」の獲得を経営方針に掲げ、下記の経営施策を推進する計画です。

1. クラウドファースト

・クラウド技術の進展とお客様ニーズを見据え、クラウド化に対応するための既存製品力とサービス力強化のための積極投資を行います。業務課題を直接解決するためのサービス提供の幅を拡げ、お客様層をこれまでの情報システム部門に加え事業部門へと拡大する取り組みを進めます。

2. グループエコシステムソリューションの提供と新たな事業の開発

・お客様のシステムライフサイクル(コンサルテーション~設計・開発~構築~保守・運用~BPO)の上流からワンストップで提案できる体制をグループとして構築し市場競争力の強化を図ります。
・新規事業領域では、当社の持つデータ活用の強みを活かし、データの集約、分析、解析を可能にする業界プラットフォームの構築のために、HRM(ヒューマン・リソース・マネジメント:人事総務)系、移動体系、農業系の3分野に絞った業界SaaS事業の基盤作りを行います。

3. 自らを変革し挑戦する組織の構築

・新組織「オープンインキュベーションセンター」を設置し、これまで手掛けてきたIoT、AI等の技術領域に加え、RPA(ロボティクス・プロセス・オートメーション)、ブロックチェーンなどの新たな技術研究、事業化への環境作りと、それを通じてチャレンジする組織風土作りを推進します。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年8月

代表取締役
社長執行役員 北野 裕行

事業トピックス

第6回 HR EXPO(2018/7/11-13開催)へ出展

現在、働き方改革がクローズアップされる中で、あらゆる人事支援サービスが一堂に出展される人事業界最大のイベントに、当社はグループ会社(株)無限、(株)アスペックスと共同し、「企業の「働き方改革」の主役は「人事・総務・経理」です！」をコンセプトに「HR(ヒューマン・リソース)ソリューション」を出展しました。

当社は、ワークスタイルの変革によるセキュリティ強化ニーズへ対応するソリューションや社内での最適な人材活用を支援する「業務の見える化」ソリューションを紹介しました。

無限からは、企業の業務支援部門向けパッケージソフト「らくらくBOSS」を紹介しました。同社の製品は経費精算や社内の申請業務において業務支援部門の負担を軽減し、業務効率化を支援するものです。大手企業から中小企業までの幅広いお客様に採用され、累計600社に導入されています。

アスペックスは設立当初から、勤怠管理システムをクラウドサービスにより提供してきた“クラウドサービスの老舗ブランド”です。人材派遣業界に特化した勤怠業務効率化サービス「DigiSheet(デジシート)」は、利用ユーザー数6万人を超える実績を誇ります。



ユニリタと銀座農園、果樹のリモートセンシングによる自律型農業ロボットの実用化開発に着手!

この度、当社と銀座農園(株)は、福島県浜通りの産業再生を図る「福島イノベーション・コースト構想」の一環として、南相馬市において同県が推進するロボットを活用した地域復興実用化開発等促進事業に共同で参画しました。

両社は、高齢農家が多い果樹産業を支援するために、人工知能(AI)による果樹農業データプラットフォームを構築し、リモートセンシングによる自律型農業ロボット等の実用化開発に着手、少人数でも大規模経営が実現できる果樹の農業ロボットソリューションの開発を目指します。

事業トピックス

■AIを活用し、バスターミナルの窓口案内業務を効率化！

地方の二次交通活性化を支援しているグループ会社(株)ユニ・ランドがバス事業者へ提供するサービスに「人工知能(AI)」を取り入れた新たなサービスをご紹介します。

同社は言語認識技術とAI技術を持つ(株)デジタルアテンダントと協業し、北海道帯広駅前バスターミナルにおいて、業界として初めてとなる本格的AI技術を導入した「AI窓口サービス」の提供を7月より開始しました。

国内外からの観光客数が増加している観光地のバス案内窓口では、発券等の複雑な業務の他に案内業務の負荷が高まっており、業務効率化やサービス品質の向上が課題でした。

本サービスは案内窓口スタッフに代わり、利用者がAI窓口と話しかけるとAIが質問内容を認識し、路線バスの検索をはじめ、周辺施設や観光地、バス乗り場案内等の情報を対話形式で回答します。これにより、案内窓口スタッフは、業務効率化と利用者に向けたサービスの品質向上に専念することができます。

また、増加する訪日外国人観光客の利用のために英語にも対応し、今後は他言語による案内も計画しています。

本サービスは2018年7月2日の日経産業新聞にて紹介されました。



ガイド役のCGを画面に表示したAI窓口

株主総会のご報告

当社は2018年6月14日、第36期定時株主総会を開催しました。お連れ様1名をご招待する取り組みを継続し、今年は株主様向けとしては初めてとなる中期経営計画説明会を開催しました。

今年は株主様377名とお連れ様38名にお越しいただき、総会、説明会含めて本年度からスタートした中計の内容、前期業績、女性の活躍、社外取締役、株価動向、現預金の活用等について活発なご質問をいただきました。

なお、総会にご来場いただいた株主様には、「セミドライフルーツセット」をご用意しました。本品は、当社の新規事業である農業SaaS事業の取り組みにおいて、福島県の果樹産業にITを適用すること、そして、同県の農業が震災後、力強く復活の道を歩んでいることをささやかでも応援させていただきたいとの思いから選定しました。

当期の配当予想について

当社では当期から利益還元指標に、株主資本配当率(DOE)を採用しました。これは配当の安定化を図り、資本効率ならびに財務の健全性を踏まえた株主還元を行うためのものです。当期の1株当たりの配当予想(普通配当)は、中間27円、期末27円としております。これにより、年間配当予想は1株当たり54円(前期比8円増加)となります。

IRカレンダー(予定)

11月6日(火):2019年3月期第2四半期決算発表
12月10日(月):中間配当金支払い開始(予定)

会社概要 (2018年6月30日現在)

商号	株式会社ユニリタ
設立	1982年5月
上場	東京証券取引所 JASDAQ(証券コード:3800)
資本金	13億3,000万円
所在地	〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
お問合せ	広報IR室 TEL:03-5463-6384

Mail:ir_info@unirita.co.jp